

<脳血管内治療科>

一般（教育）目標

脳卒中の病態と、脳および脊髄血管疾患に対する血管内治療の適応、方法、周術期管理を理解する

(具体的) 行動目標

- (1) 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の診断と初期治療ができる
- (2) 脳血管造影での単径穿刺および基本カテーテル操作ができる
- (3) 脳動脈瘤、頸動脈狭窄、脳血管狭窄、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻に対する血管内治療の適応判断と、その助手および周術期管理ができる

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導の下に入院患者の診療を行う
- (2) 上級医の指導の下に脳血管造影を施行する
- (3) 脳血管内治療に助手として参加する

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) カンファレンスで症例を呈示する
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する
- (3) 興味を持った症例に関し、上級医の指導の下に自己学習する

週間予定（例）※隨時、病棟業務、他科コンサルテーションなど

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|------------------|------------|------------------|------------|-----------------|
| 午前 1 | 抄読会 | カンファレンス | | 抄読会 | カンファレンス |
| 午前 2 | 手術 病棟業務 | 検査 病棟業務 | 検査（手術） 病棟業務 | 検査 病棟業務 | 手術 病棟業務 |
| 午後 1 | 手術 回診 病棟業務 | 病棟業務 | 検査 病棟業務 | 病棟業務 | カンファレンス 病棟業務 |
| 午後 2 | | | 脳卒中カンファレンス(第1,3) | | |

EV評価

PG-EPOCによる評価方法（研修医↔指導医）※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC評価システムに入力すること